

## 彙 報

第十九卷第四號 昭和八年四月

## 矢作水力黒田貯水池堰堤工事

(此報告に就ては會員工學士櫻山壯次君の勞を煩はしたり。茲に感謝の意を表す。)

## 1. 箇所名並に工事種類

工事種類：貯水池堰堤  
 使用河川名：矢作川水系名倉川支流黒田川  
 堰堤位置：愛知縣北設樂郡武節村大字黒田

## 2. 計畫概要

總貯水量：4 528 598.0 立方米， 有效貯水量：4 432 580.0 立方米  
 利用水深：21.0 米， 貯水池面積：453 314.0 平方米  
 貯水池周界延長：6 910.0 米， 流域面積：7.4 平方軒  
 貯水池面標高：海拔 857.50 米

使用方法：渦水期 64 日間毎秒 1.28 立方メートルを放流し，下流發電所負荷の狀況に應じ最大毎秒 1.81 立方メートル迄放流使用するものとす。

利用落差：當社利用落差 396.27 米， 他社利用落差 230.30 米  
 總利用落差 626.57 米

發電力量の増加：當社分 毎年約 6 040 000 K.W.H.， 他社分 3 590 000 K.W.H.， 合計 9 630 000 K.W.H

地形及地質：本貯水池位置は舊段戸牧場跡にして花崗岩の浸蝕削磨せられ準平原狀をなせる丘陵地にして基岩は全部花崗岩より成り處々小區域に於て雲母片岩及石英片岩の存する優良なる地質なり。

堰堤：重力式不溢流粗石入コンクリート造堰堤（中央部に溢流路を附設す）にして水壓，地震，泥壓の諸力に耐ふるものとす。

給水装置：半径 1.5 米の半圓形給水塔を設け周壁に 4 個の導水口を設け池水位に應じ適宜の 1 個を開き池内の上表水を導水し更に給水鐵管を通し堰堤下流に放流するものにして給水管末端にはニードルバルブを取付け放流水量を調節するものとす。

## 3. 工事費金 700 000 圓

4. 主要材料 總コンクリート量 40 000 立方米， 使用セメント數 50 000 樽

5. 工事執行者名 矢作水力株式會社

6. 計畫設計者 技師 櫻山 壯次

7. 工事監督者 " 大西 英次

8. 施工方法 請負，請負人 間組

9. 起工年月 昭和 7 年 4 月

10. 竣工豫定年月 昭和 8 年 8 月

寫眞第一 堰堤箇所掘鑿(昭和7年8月)



寫眞第二 堰堤工事總全景(昭和7年12月)

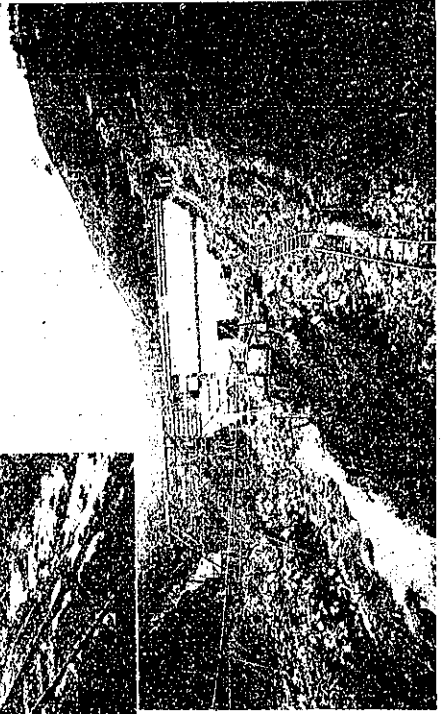


←寫眞第五

上流より見たる堰堤工事(昭和7年12月)

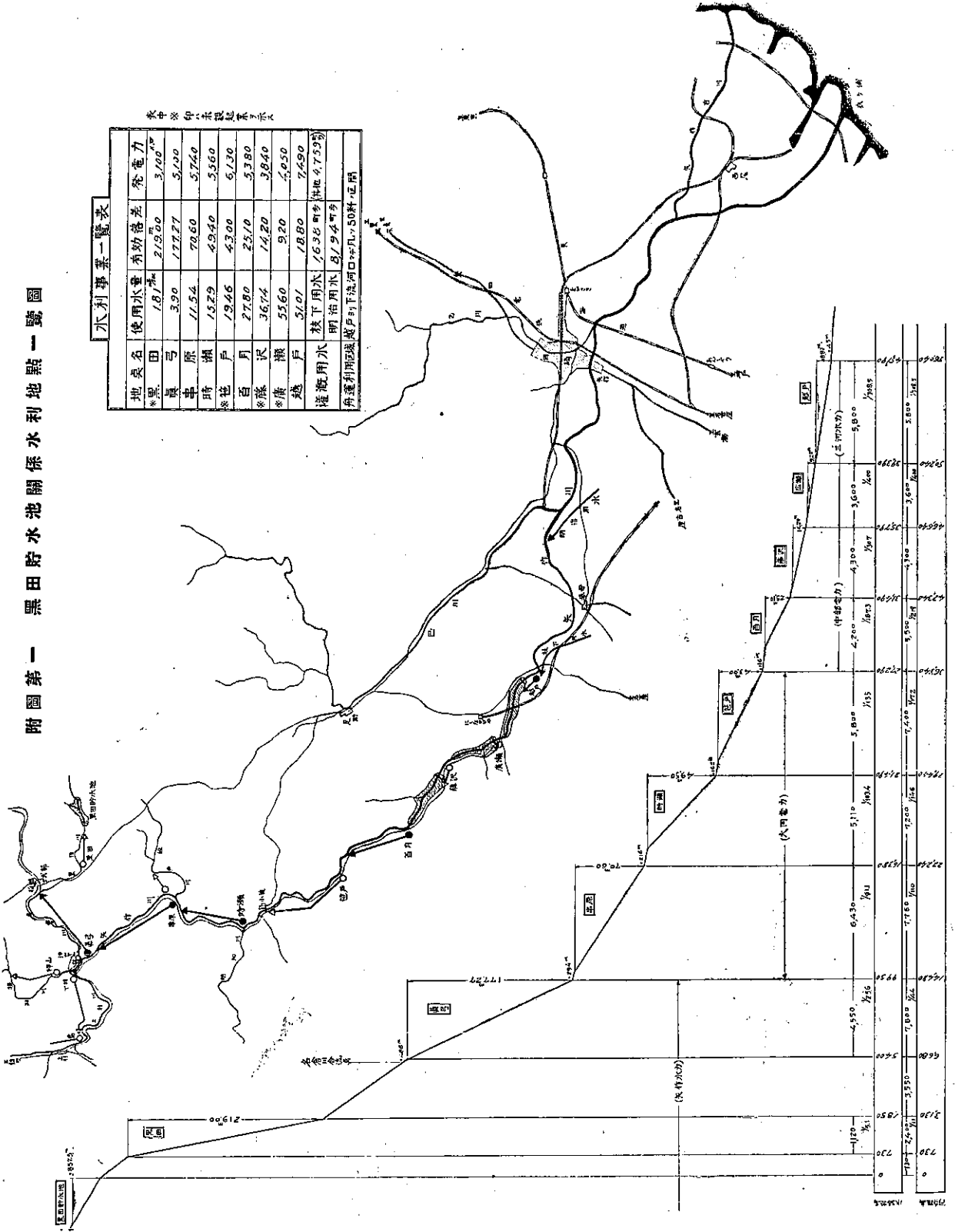


寫眞第三 左岸より見たる堰堤工事(昭和7年12月)



寫眞第四 下流より見たる堰堤工事(昭和7年12月)

附圖第一 黑田貯水池關係水利地點一覽圖

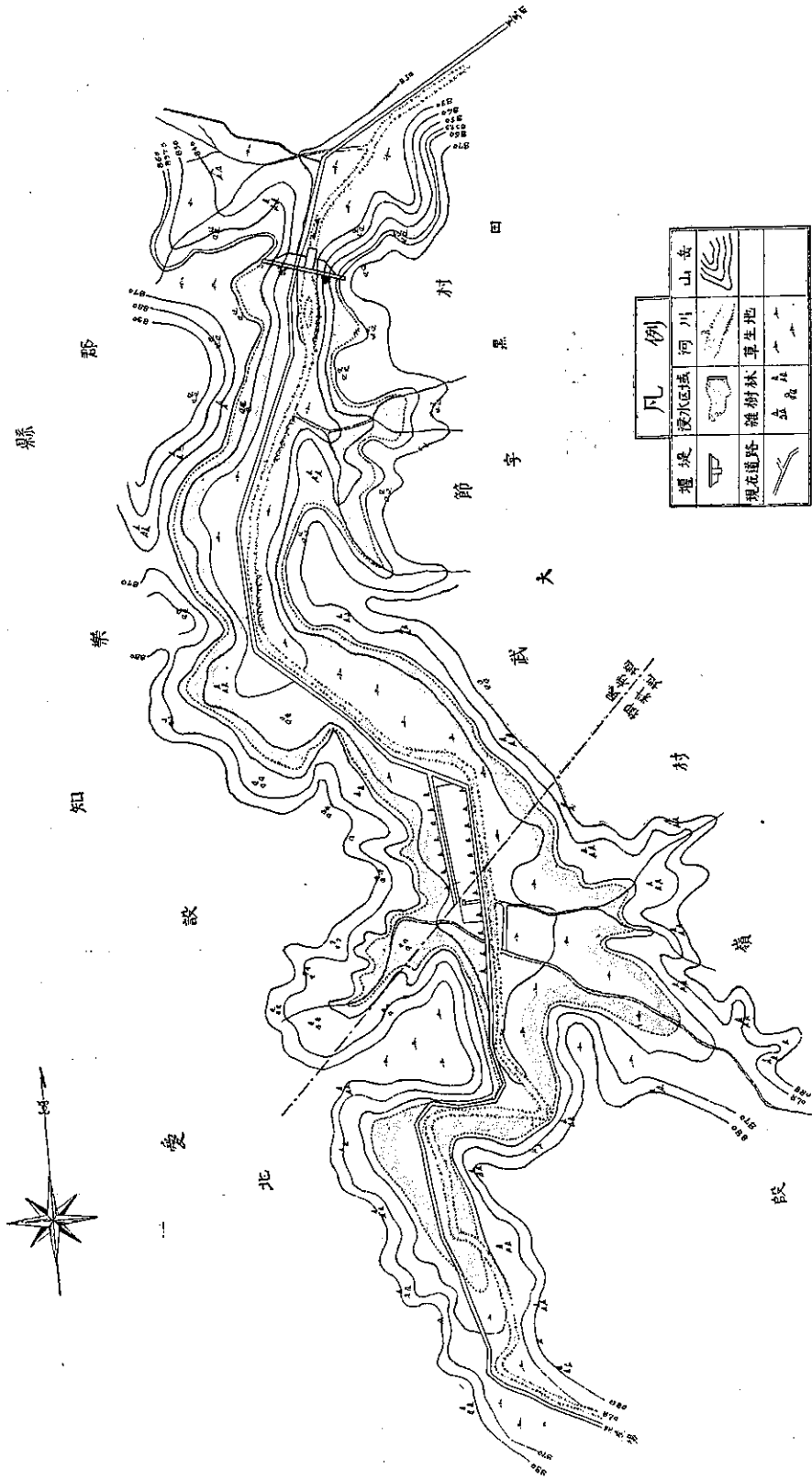


水利事業一覽表

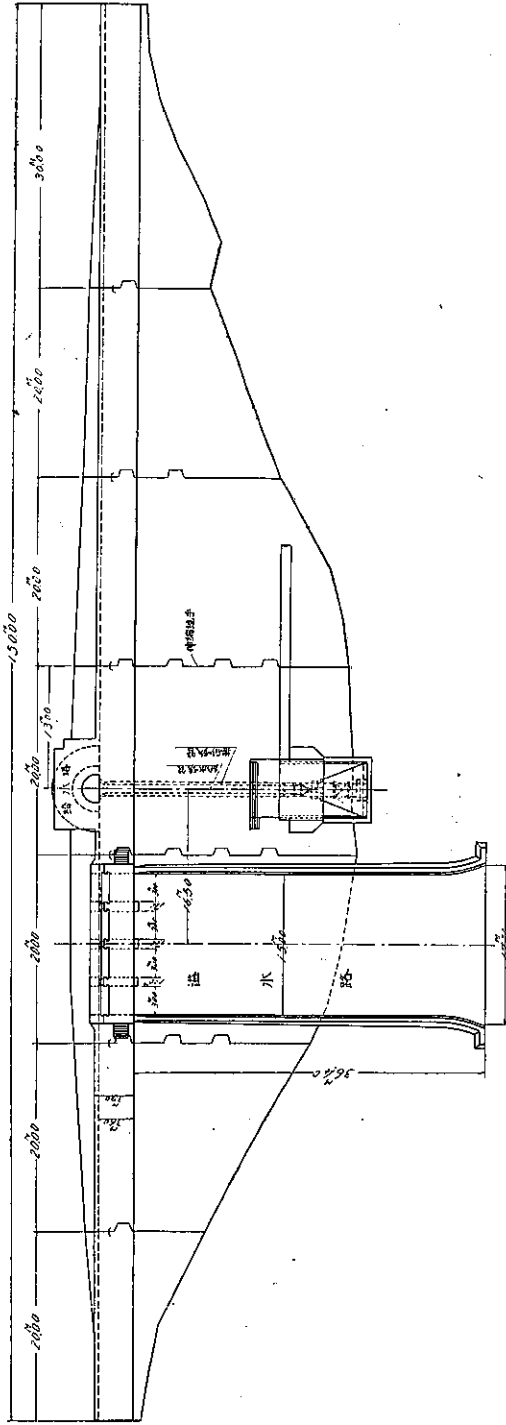
地名	使用水量	有効落差	発電力
*黒田	181%	219.00	3,100 <sup>kw</sup>
早瀬	3.90	177.77	5,790
時湖	115.4	70.60	5,740
*百世戸	194.6	49.40	5,560
*藤沢	27.80	25.10	6,130
*越戸	36.74	14.20	3,840
越戸	51.01	9.20	4,050
越戸	18.80	1.80	7,450
灌漑用水	16.35	4.75	4,750
明治用水	81.94	4.75	4,750
下流河口	50%	50%	50%

矢作水力黒田貯水池堰堤工事

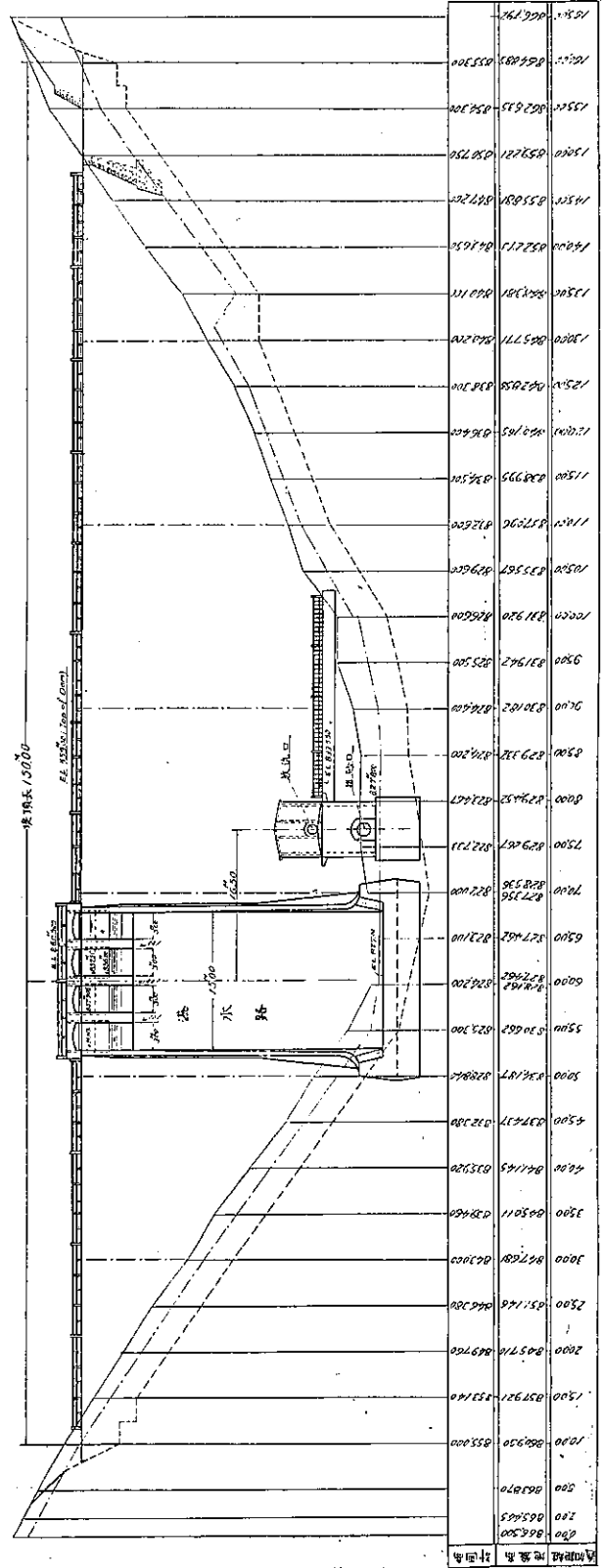
附圖第二 黒田貯水池平面圖



堰堤平面圖



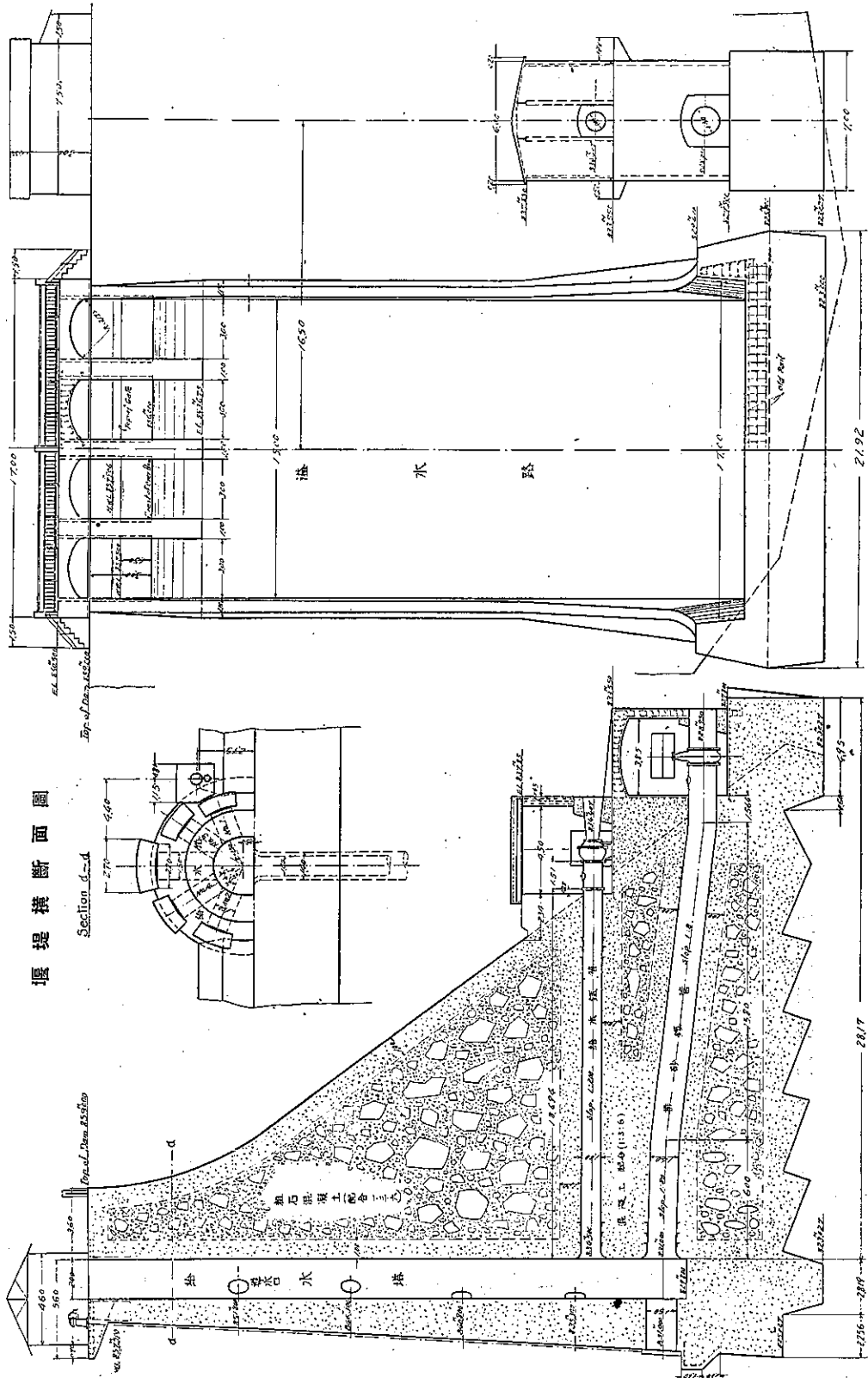
堰堤背面圖



附圖第三



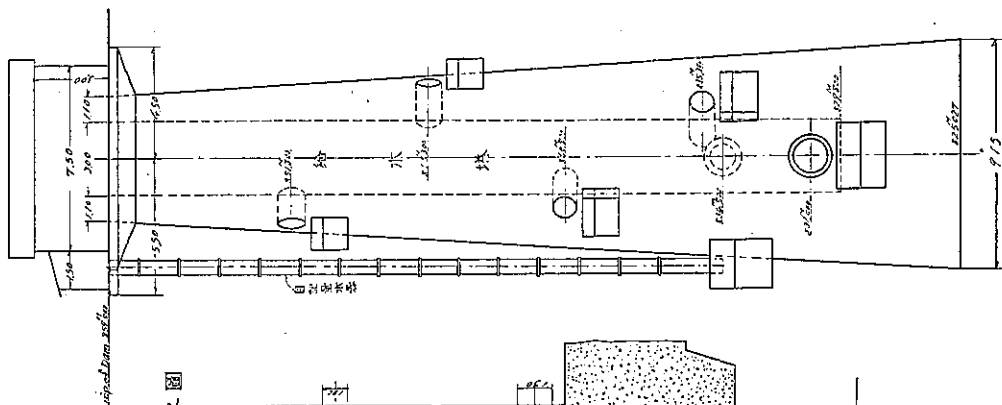
附圖第五



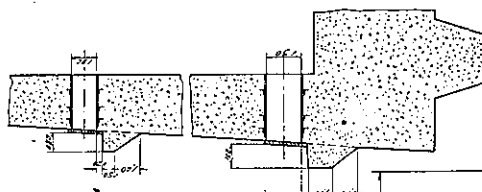
堰堤橫斷面圖

溢水路背面圖

給水塔正面圖

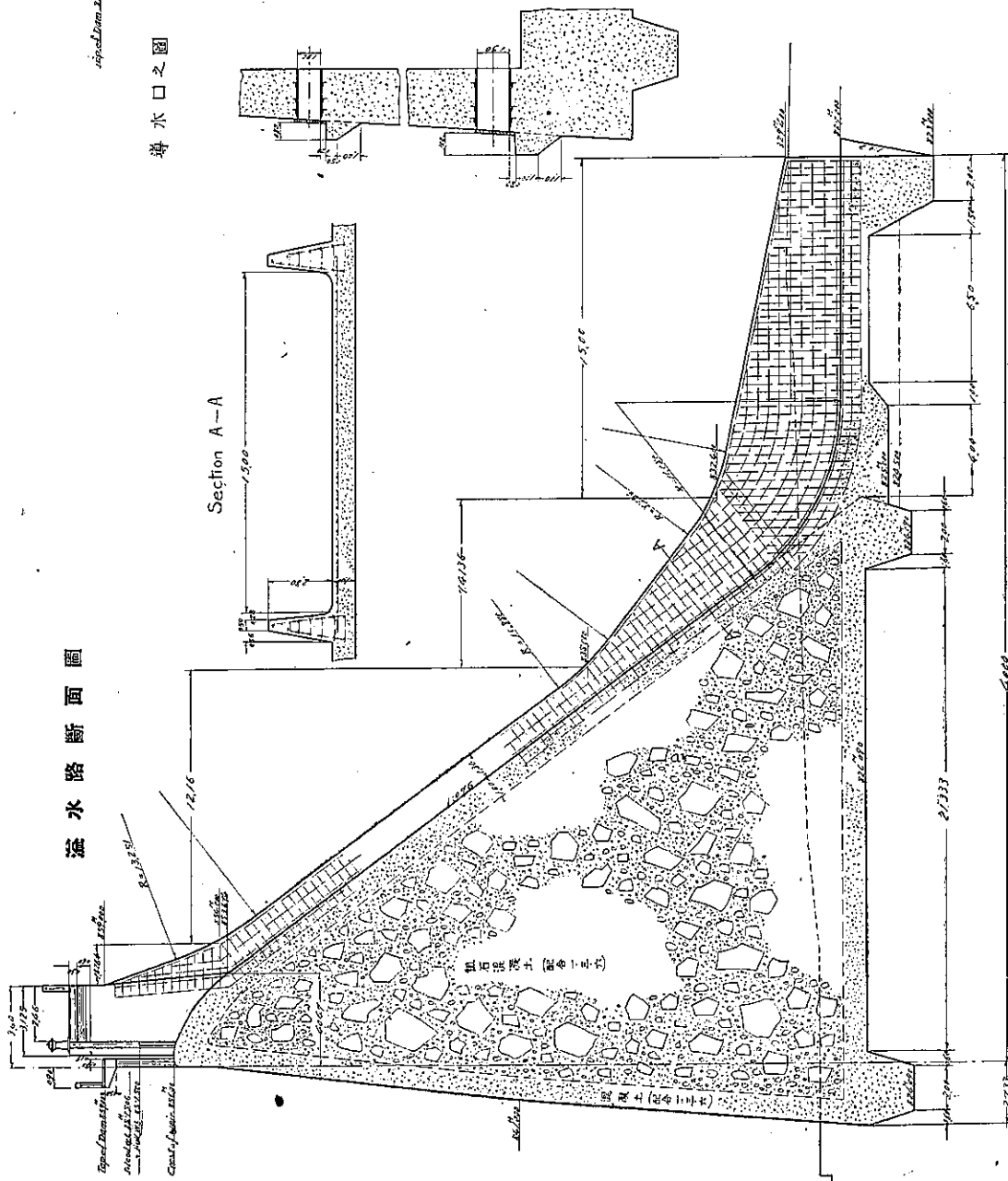


導水口之圖



溢水路断面圖

附圖第六



Section A-A

